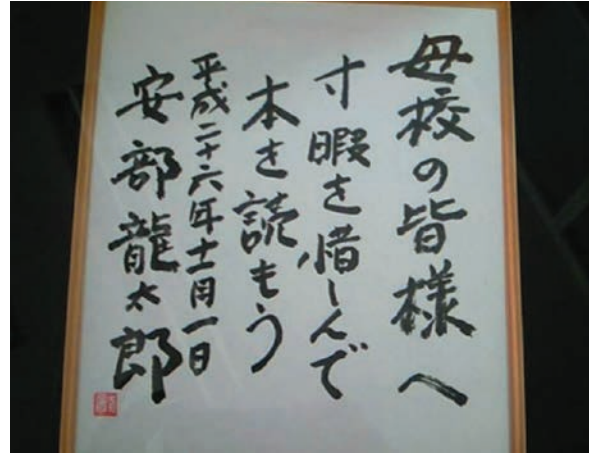


# 図書館だより

No.85 December, 2014



## 目次

巻頭エッセイ 「不易」と「流行」	校長 上田 孝	1
読書のすすめ 本との出会い	機械工学科 山村 基久	2
『代表的日本人』内村鑑三著	生物応用化学科 松田 貴暁	3
私の一冊	各学科学生6名	4
リレー連載 欧米でも通用する(?) 街学者を目指して...	一般科目理科系 伊藤 公毅	7
平成26年度前期図書館利用状況		8
Information 編集後記		9

# 巻頭エッセイ

## 「不易」と「流行」



校長 上田 孝

今年、久留米高専は創基75周年・高専創立50周年を迎えました。本校は昭和39年に設立されましたが、その淵源は、昭和14年に設立された高等教育機関である久留米高等工業学校に遡ります。

鎌倉時代に鴨長明によって書かれた随筆「方丈記」の「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」の如く、これまで1万2千人を超える久留米高等工業学校、久留米工業専門学校、久留米工業短期大学、久留米工業高等専門学校の学生たちが、戦前、戦中、戦後を通して、この小森野のキャンパスで学び、社会に巣立ちました。全国で最初に卒業生を送り出した高専本科からは約9千人の卒業生、専攻科からは約6百人の修了生を輩出しています。

久留米高専が創設されて半世紀を経たわけですが、世の中には、時間が経っても不変のものとともに移り変わっていくものがあります。

江戸時代前期の俳人で、「奥の細道」などで知られる松尾芭蕉は、これを「不易」（ふえき）と「流行」（りゅうこう）という理念で表しました。

向井去来が芭蕉の俳論をまとめた俳諧論書の『去来抄』では、「不易流行」について、次のように書かれています。「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」

時とともに変化しない俳句の本質的なものを知らなければ良い俳句は作れないし、時代の変化に応じて進展する新しさを知らなければ、陳腐な俳句となってしまうということです。

このことは俳句だけでなく、科学や技術をはじめ様々な事柄に当てはまります。

久留米高専創設の年に、東海道新幹線が開業しました。当時世界最速の210キロで東京・大阪間の日帰りを可能にし、「夢の超特急」と呼ばれました。

車軸受けの金属疲労、制御装置の半導体の過熱、トンネル突入時の微気圧波の発生などの様々な問題点を改良を重ねて克服し、現在まで乗客の死亡事故ゼロという世

界に誇る安全性を実現しています。

最先端技術の粋を集めて造られている新幹線ですが、初代0系から現在まで、流線形の先頭車両は、最新鋭の生産ラインではなく、打出し板金により、熟練工が繰り返しハンマーで叩いて打ち出したアルミ板を溶接して製造されています。

宇宙ロケットの先頭部で、中に搭載している衛星などを打上げ時の音響や振動、飛行中の大気による摩擦熱から保護するフェアリングと呼ばれる部分や航空機の前頭部の丸いノーズコーンは、金属板を回転させながらへらを押し当てて少しずつ変形させるへら絞りによって加工されています。

このような多品種少量生産のものについては、そのたびに金型を造ると費用が膨大になるため、科学技術が進歩した今日においても、熟練工の加工によって製造されています。このような「不易」も、将来は3Dプリンターなどの改良や新素材の開発などによって、「流行」となるのかも知れません。

科学技術は加速度的に進歩しています。

世界初のポータブル・パソコン（ラップトップ）を東芝が1985年に欧州市場に売り出して以来、30年も経たないうちに小型化、軽量化、高性能化が進み、今日ではタブレットも普及しています。

日本の携帯電話も1970年に試験機が大阪万国博覧会で披露されてから、50年もかからずに、自動車電話、肩掛けタイプ、ハンディタイプ、手のひらサイズ、メール機能、カメラ機能、そして現在のスマホに至る著しい進化を遂げました。

今日では各家庭にも普及しているインターネットも、米国防総省の研究プロジェクトで1969年から米国の大学間で接続が始まり、日本でも今から約30年前に大学間で一部の工学研究者間で研究やデータ送信に使用され始めたものです。

科学技術の進歩により社会が急速に変化する中で、常に「不易流行」に目を向けておきたいものです。

# 特集 読書のすすめ

## 本との出会い



機械工学科 山村 基久

「読書のすすめ」への寄稿を依頼されたが、僕は、ずっと本を読むのは苦手だった。じっとしているより、動いている方が好きだったし、ベストセラーや受賞作品にも、ほとんど興味が湧かなかった。今は、気に入った本だけを、じっくり読み、発想を膨らませる読み方がもっばらだが、今でも印象に残っている本との出会いをいくつか紹介して「読書のすすめ」としたい。

高校二年の夏、友人達と島原半島までキャンプに行った。夜の海岸で、波の音を聞きながら友人の一人が物語を聞かせてくれた。「神父に付いてきた悪魔が、せっせと植物の世話をしていた。通りかかった牛商人は見たこともないその植物が知りたくて、悪魔に尋ねた。すると悪魔は答えず『三日以内に名前が分かったらこの畑全部お前にくれてやる』『その代りわからなければお前の体と魂をもらう』と持ちかける。牛商人は応じたものの、見当もつかず困った挙句、牛を畑に離す。するとあわてた悪魔はうっかり『俺のタバコ畑に何をする』と口走ってしまう。牛商人はまんまとタバコ畑をせしめ、日本にタバコが広まることになった。しかし、悪魔はにやりと笑う・・・」

芥川龍之介の小説「煙草と悪魔」の物語だ。その後も「芋粥」や、停車場を歩きかう人々の姿を「ありゃあ ロンドン乞食だ」とちゃかしては批評する「父」。それまで、芥川の小説は、「鼻」くらいしか知らなかったのだから、彼の読書量の豊富さと語り口の見事さに僕らはどんどん引き込まれていった。

「絵師として当代一の腕前を持っているが、性格は傲慢でわがままな男。ある時、大殿から地獄絵図を頼まれる。『私は見たものしかかけない』と豪語し、弟子たちを地獄さながら痛めつけたり、罪人を拷問にかけたりして、地獄絵の製作を進める。そして、最後にどうしても牛車で焼け死ぬ女の姿を書き加えたいと大殿に申し出る。やがて準備された牛車の前で絵師は筆を執って待ち構える。ついに火がかけられるが、なんとその女は罪人ではなく、・・・」

聞いていた僕らは、ハッとして息をのんだ。

そのことがあってから、小説ってこんなに面白いのかと読むようになった。話してくれた友人のお陰であるが、惜しいことに彼は大学で山岳部に入り、山で滑落して亡くなった。生きていればもっと面白い話をたくさん聞かせてくれたに違いない。

君たちもやがて卒業し、社会の荒波にのみこまれ方向を見失わないようにするには、時代を大観することが大切だ。NHK100分で名著という番組で紹介されたピーター・ドラッカーの「マネジメント」。「もし野球部の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」という本でも有名になったが、多くの著名な経営人が座右の書として推奨する本だ。20世紀から二つの世界大戦を経て、現代へと変化してきた世界を、ヒトラーにも直接インタビューするなど冷静な目で観察しつづけたジャーナリストだ。「全体主義も、経済至上主義も、人々を幸せにはしない」。幸せは、一人ひとりが自分の強みを生かして、理想を追いかけ、自分の道具で自分自身をマネジメントしていくことでもたらされ、「自由と尊厳のマネジメントの時代がやってくる」とまとめている。分厚い本だが名言の宝庫でもある。

もう一冊は、ダニエル・ピンクの「ハイ・コンセプト」。これは絵の友人からの紹介。農業から、工業社会にシフトし、情報社会へと進んできた現代。しかし、次に来る社会はどんな社会なのか？ピンクは、「コンセプトの時代」だと言っている。新しいものを創造できる人、他人と共感できる人の時代だと。そういう見方で世の中の動きを見てみると、無農薬野菜や山奥のレストラン、職人技や伝統工芸の新しい展開、きゅーばみゅばみゅ。それには新しい価値の創造や、そこにたどりつくまでの物語が隠されていて、人々の共感を呼んでいるからなのだ。理論ではなく感性豊かな人々の時代が来つつある。

工業技術を学び、その専門性をどう展開すれば、人々を幸せにできるのか。「自立の精神」を掲げる久留米高専の学生がどんな価値を自らに見出すのか、期待したい。ドラッカーの言葉「専門家は、知りながら書をなすな」もお忘れなく

## 特集 読書のすすめ

### 『代表的日本人』 内村鑑三著



生物応用化学科 松田 貴暁

本稿では、松田が学生の時に読んだ作品、或いは、学生諸子へ学生の内に一読を勧める作品の中から、『代表的日本人』内村鑑三著を紹介する。

内村鑑三は高崎藩士の子として幕末の1861年に生まれる。1877年に札幌農学校（クラーク博士の「少年よ大志を抱け」の文言にて有名）へ入学し（第二期生、同期に新渡戸稲造らを輩出）、ここで基督教の洗礼を受ける。以後、伝道師・教育者・思想家として生涯を送った（1930年死去）。本作は、原書は英文著作 *Representative Men of Japan*（1908年初版）であり、西欧社会へ日本の人物・文化・思想を紹介した作品である。内村が代表的日本人としたのは次の五人、西郷隆盛・上杉鷹山・二宮尊徳・中江藤樹・日蓮上人である。五人の人物について、聖書や基督教、西欧の歴史・人物・文化・思想に照らし合わせて簡潔に著している。内村鑑三を通じた人物像の表現が成されており、その点では、人物の史実に厳密な紹介というよりも、内村による人物論というべき作品である。以下、本作の内村による五人の人物描写に簡単にふれる。

①西郷隆盛（1828－1877）は、明治維新の中心人物の一人であり、日本最後の内戦、西南戦争の薩軍盟主でもある。「敬天愛人」に代表される西郷の思想や規範を描写し、また、陽明学の影響（とその基督教との類似性）に言及している。

②上杉鷹山（1751－1822）は、米沢藩第九代藩主として、財政破綻寸前の藩を再建した名君である。俟約・世襲や身分に囚われない人材登用等の行政改革を実行し、農村復興・殖産興業・藩校再興等を実現し、藩を再建した。内村は、鷹山の治世を封建制の理想型とし、封建制に取って替わった代議制と比較して、代議制の現状に勝るとしている。

③二宮尊徳（通称、二宮金次郎、1787－1856）は、独学と農業実践とから「報徳思想」と呼ばれる道徳思想・経済思想を創出し、それに基づく政策（報徳仕法）により、農村復興・財政再建を実現した人物である。経済改革の基盤として道徳的要因を重視することで、物質・精神両面の再興を導く姿が描かれている。

④中江藤樹（1608－1648）は、江戸初期の陽明学者であり教育者である。故郷に私塾（藤樹書院）を開き、身分を問わない教育を行い、近江聖人と称えられた。門下に熊沢蕃山（日本最古の庶民学校、閑谷学校の契機となった人物）。内村は、西洋からの日本人の資質への問い（異教徒なるも賢明なるは何故か）へ、江戸期の学校教育が実践道徳であったことを答え、藤樹をその理想的具体例としている。

⑤日蓮上人（1222－1282）は、日蓮宗の宗祖である。仏教信仰の基準を、数ある仏典の中から法華経と定め、全く後ろ楯のない状態からその布教に勇往邁進する、独立不羈の生涯が描かれている（日本における基督教伝道師たる内村自身の投影が大きいように思われる）。

以上、本作の簡単な紹介である。これよりは松田の私見（雑談）を許されたい。聖書や基督教に浅学な松田からすれば、本書は、普段立脚し難い視点から、日本の人物・文化・思想に光を当てていることが興味深い。一方、英文著作として発せられた本作であるが、其の裏、日本人自身へ向けられた作品でもあると思われる。西欧文化を受容していく文明開化の明治の世にあって、維新により江戸封建制を終えたことが、それまでの道徳的規範の滅亡に繋がり、「鼠を追い出そうとして、火が納屋をも焼き払ったのではないか」と内村は訴えている。百年経た現在、外から見た日本について、その道徳規範（例えば「電車で置き忘れた物が返ってくる」等、更には、その道徳規範が西欧的宗教教育に因るものではないこと）は驚異的とされる。それは、暗黒ともいわれる封建時代を脱した、維新から現在までに、日本人が新たに醸成したものではなく、江戸封建時代に培われた実践道徳の名残であろう。ここで道徳規範を「美意識」と言い換えることが或いはできるかと思う。日本人はこの美意識を、程度の差こそあれ明確に保ってきたのではないだろうか。

余白に関連書を記す。①『デンマルク国の話』内村鑑三著、②『武士道』新渡戸稲造著



# 私の一冊



JR 著  
JR時刻表

交通新聞社

私は鉄道好きです。少し変わっていますが、時刻表の楽しみ方を紹介したいと思います。時刻表を使って計画を空想すれば、実際の旅行の楽しみが増えるかもしれません。在来線だけで1日でどこまで行けるか調べたことがあります。博多を始発で出発すれば、静岡県沼津市まで行けます。青春18切符を使えばお得な旅ができるでしょう。また、同じ駅を2度通過しなければどんなルートを使っても同一料金、というルールがあります。それを使えば、博多駅から私の最寄り駅である吉塚まで、久大線を使えばわずか160円で大分を通ることができます。皆さんも時刻表で鉄道を使った旅行計画を立ててみませんか。

(機械工学科4年 池田 晶)

【図書館所蔵情報】 所蔵あり(雑誌コーナー)



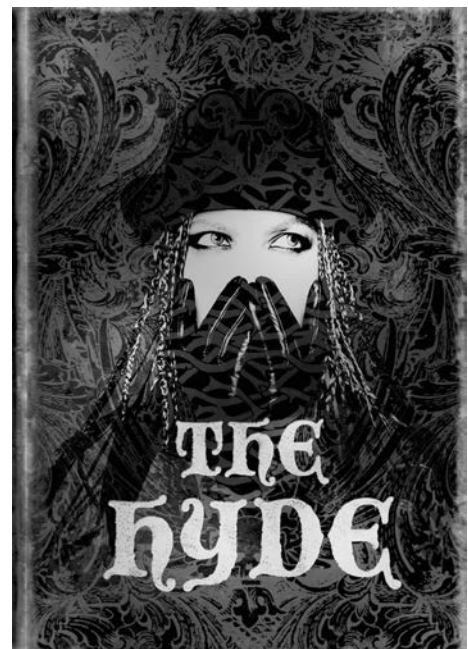
寶井 秀人 著  
THE HYDE

ソニー・マガジズ

この本はL'Arc~en~Ciel、VAMPSのヴォーカリストであるHYDEこと、寶井秀人が書いた自叙伝です。アーティスト活動20周年を記念して書かれたこの本では、今まであまり語られてこなかったHYDE氏のプライベートな話やいろいろな価値観、アーティストとしての活動への本音などを語られています。詳しく語られていない部分については「なぜ言わないのか」という本人なりの理由がきちんと書いてあるのでそれはそれで納得できると思います。僕は高専に入学する少し前くらいにTVで楽曲を聴いてL'Arc~en~Cielを好きになったので、歴が浅いファンですが、一ファンとしてHYDE氏の素顔を知ることができてとても満足な内容でした。興味がある人はぜひ読んでみてください。

(電気電子工学科5年 石井 佳太)

【図書館所蔵情報】 購入予定





## 私の一冊



乙一 著

夏と花火と私の死体

集英社

この作品の著者である乙一さんは久留米工業高等専門学校の卒業生です。そして、『夏と花火と私の死体』は久留米工業高等専門学校に在籍している時に書いた作品で、この作品が乙一さんのデビュー作です。

内容は花火大会を控えたとある村で死んでしまった一人の少女。その少女の死体はどうになってしまうのか？ その行く末を死体となった少女の目線で綴るといって斬新な作品です。

私はこの作品を読んで、死体が思わぬ事件に巻き込まれるハラハラドキドキの展開が何度もあり、最後にもまさかの展開が待っていてとても面白い作品だと感じました。この作品を10代で書いたと思うと乙一さんは素晴らしいなと感じました。



(制御情報工学科2年 河村 祐成)

【図書館所蔵情報】 913||Z-O||2

志村 正彦 著

株式会社

東京、音楽、ロックンロール 完全版 ロッキング・オン

この本は私がとても大好きなバンド、フジファブリックの前ボーカルの志村正彦さんがオフィシャルホームページに載せていた日記と生前行われたインタビューが書いてあります。志村さんがミュージシャンになるきっかけやメジャーデビューするまでなどの生い立ちや志村さんのミュージシャンとしての苦悩、さらに志村さんからみた他のメンバーのことについても書いています。フジファブリックを知っている人はこの本を読めば増々好きになるし、フジファブリックを知らない人もこの本を読めば志村さんがいかに真剣に音楽と向き合っていたか分かると思います。

是非読んでみて下さい。



(生物応用化学科3年 木下 栞)

【図書館所蔵情報】 購入予定



## 私の一冊



小川 洋子 著  
博士の愛した数式

新潮社

家政婦をしている女性は、数論専門の元大学教師で、交通事故の後遺症で記憶を蓄積する機能が損なわれ、その後わずか80分しか記憶をとどめることができない「博士」の家に派遣される。博士と女性とその子供との会話の中で、こんなにも数字に囲まれて生活していたことに気付く。靴のサイズ、誕生日、電話番号…など。博士はそのひとつひとつの数字の意味を説明していく。私は誕生月である6という数字が「完全数」であるということが発見であった。その他にもいろいろな数字が出てくる。自分の周りにある数字にまつわる新しい発見があるかもしれない。

(材料工学科5年 中島 今瑠)

【図書館所蔵情報】 913|0|79



米澤 穂信 著  
春期限定いちごタルト事件

東京創元社

ミステリといえば殺人事件を思いつきますが、本書はミステリ本ではありませんが人は殺されません。物語は、小市民を目指す2人の高校生が日常の謎を解き明かしていく、といったものなのですが、それだけだとただの青春ミステリに感じるかもしれません。しかし物語後半に差しかかると、二人の意外な本性が見えてきます。筆者は自著について、通底するテーマは思春期における「全能感」であり、その揺れ動き、変化していく過程を書いてきたと述べています。そこからくるシビアさは他作品にはない一風変わった読後感を味わうことができます。ミステリとしての読みごたえも十分なので、是非ご一読いただければと思います。

(機械・電気システム工学専攻1年 東 晃也)

【図書館所蔵情報】 購入予定



# リレー連載



## 欧米でも通用する(?) 銜学者を目指して…

一般科目(理科系) 伊藤 公毅

あなたの前にひどく日本語が下手な欧米人がいるでしょう。だが、その人が「Ogurayama minenomomidiha kokoroaraba imahitotabino miyukimatanam」(百人一首26)等と呟いたらどうだろう。「こいつはただ者ではないな」と感ずるならまして、日本人によっては「やべーおれしらね」と恥かしく思い、最悪なら「何いってんだコイツ」となりかねない。こういう外国人の言をひろえないのは英語ができぬことよりも恥ずかしいことである。だから、日本の古典を勉強しておくことは大事だ。しかし、ここではもっと「攻めの手」で、欧米人にも通用する(?) 銜学者になる為の秘技を紹介したい。

さて、先程の場面設定において「内外反転」して、「英語が下手なあなたが欧米人の前にいて、たとえば、『方法序説』(デカルト)の一節をラテン語で披露」したとしよう。受けての欧米人は矢張り「ただ者ではないな」と思うであろう。(そうでない様な奴はどうせ、ろくな教養を持ち合わせないのだから相手にする必要はない。)というわけで、方法序説なり何なりをラテン語で読まなきゃならなくなるのだが、その為には先ずラテン語を勉強しなければならない。そこで、この小文で紹介したい本が『新ラテン文法』(松平千秋・国原吉之助著、東洋出版)である。

これは、私が学生時代にでていたラテン語の講義に用いられていた教科書だが、かなりしっかりしたものである。他にももっと易しいのが出ているかもしれないが私は知らないのをこれを挙げることにした。480ページと大分な本であるが、巻末は名詞や動詞の変化表と「語彙」としてちょっとした辞書のようなものがついている。従って、辞書を買わなくても何とか学習できるようになっている。練習問題には有名なフレーズも現れ、これを覚えておくと如何にも銜学者を気取れる。たとえば、”Gaudeamus igitur, juvenes dum sumus! post jucundam juventutem, post molestam senectutem nos habebit humus.”(15頁)なんというのがある。ドイツの古い学生歌としてご存知の方

もいるであろう。欧米では今でも卒業式に合唱したりもしているようだし…(或いは、ブラームスの『大学祝典序曲』の最後のパートという方が日本人には馴染みがあるかもしれない。)

さて、先述の『方法序説』の言葉「Cogito, ergo, sum」はあまりにも有名である。高等教育を受けるまでもなく知っているべき常識である。(従ってこんな言葉を欧米人に披露しても、何の脅しにもならない。寧ろやぶ蛇になって返り討ちにあいかねない。)ただ、ラテン文法に従って和訳できるか、といわれれば些か敷居が高くなる。実は、文法知識としては初歩の初歩で十分事足りるので、折角だから説明してみよう。(以下に示す頁は先述『新ラテン文法』の頁を表す。)427頁に「cogito(1)考える」とある。これは、「amo」と同じ活用であることを示している。amoについては後に述べることにする。433頁に「ergoそれ故に」とある。「sum」は英語でいうbe動詞である。(25頁§71)単数1、2、3人称、複数1、2、3人称の順に活用を示すと、sum, es, est, sumus, estis, suntとなる。従って、sumは「在る」の1人称単数形であり、「私は在る」という意味になる。尚、英語の様に主語「私」を明示する必要はない。何故なら、活用形から主語はわかるからである。最後に、「amo」の活用を示すと、amo, amas, amat, amamus, amatis, amantとなる。(17頁§44)というわけで、「cogito」は「考える」の1人称単数形であり「私は考える」となる。主語の明示が不要なものも前と同様である。amoは、ラテン語をならうと一番始めにでてくる。取り敢えず、この活用を覚えれば「ラテン語をやったことがある」ふりはできる。さて、amoは「愛する」という意味である。ラテン語の一番始めに「愛する」を習うわけだ。ただ残念なのは、こんな言葉を習っても女性を口説くには全く役立たない。

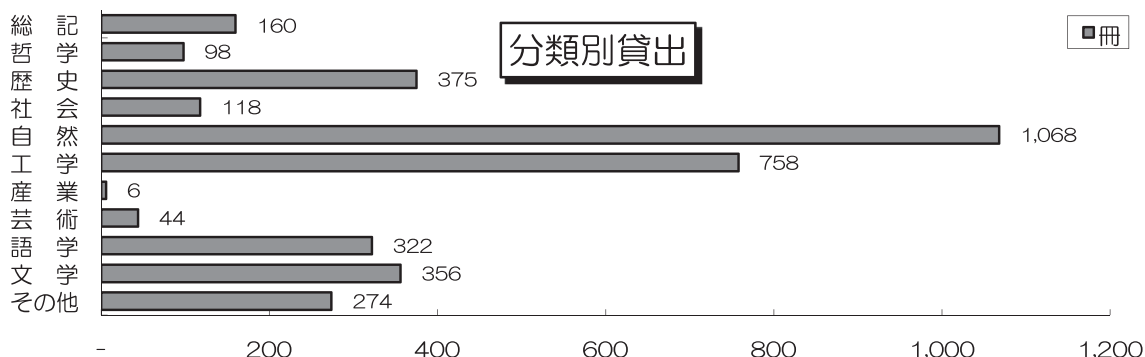
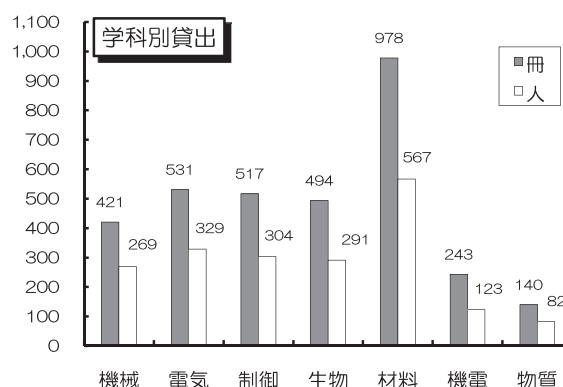
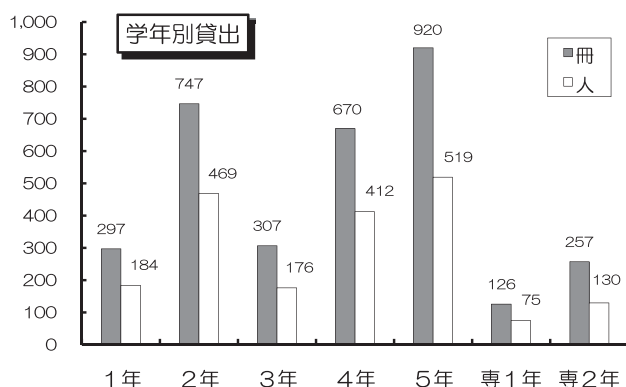
さて、最後に白状しよう。私は方法序説も読んでいないし、ラテン語の学習も途中で挫折した。こんな勉強ができる暇は学生時代位しかない。皆さん、今がチャンス!我々の様に手遅れになる前に…



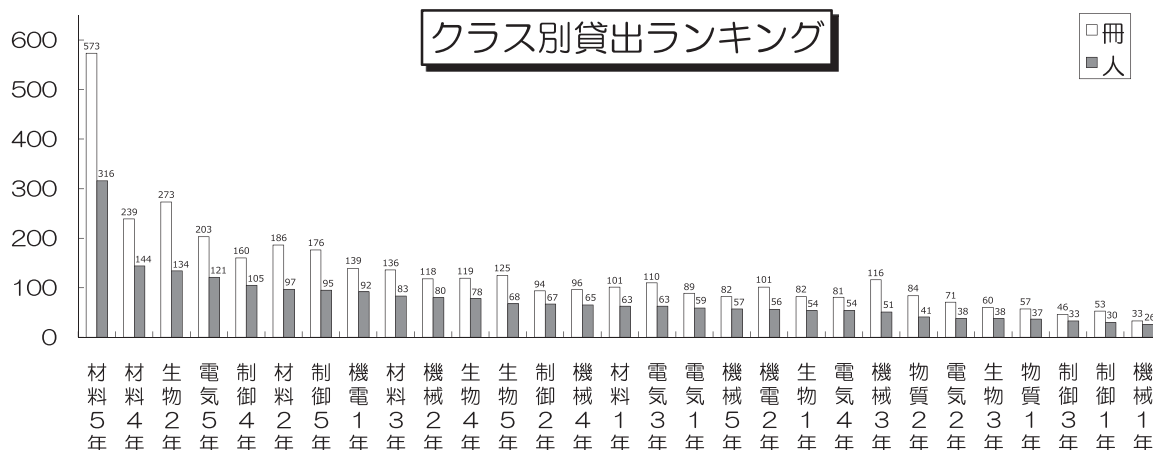
# 平成26年度前期 図書館利用状況

## ◆開館日数及び入館者数

月	開館日数	入館者数				一般利用者数 (内数)	一日平均入館者数 (四捨五入)	開館時間
		平日		土曜日	合計			
		時間内	時間外					
4	24	3,372	494	128	3,994	22	166	平日(時間内) 9時～17時 平日(時間外) 17時～20時 土曜日 9時～17時
5	24	3,606	960	256	4,822	8	201	
6	25	3,292	724	194	4,210	12	168	
7	23	3,317	427	29	3,773	19	164	
8	17	974	0	0	974	42	57	
9	24	2,823	539	298	3,660	9	153	
合計	137	17,384	3,144	905	21,433	112	157	



※ 分類別貸出冊数には、教職員及び一般利用者貸出冊数を含む。



# information

下記のとおりお知らせいたします。開館日時の変更にはご注意ください。



## ◆特別(長期)貸出について

冬季休業中の特別(長期)貸出は下記のとおりです。

- ・貸出期間：12月13日(土)から  
12月26日(金)まで
- ・返却期限：1月9日(金)
- ・貸出冊数：5冊以内

(一般利用者及び教職員は通常貸出です。)

## ◆卒業・修了予定者への貸出等について

今年度卒業・修了予定者への貸出は下記のとおりです。

- 貸出：2月13日(金)まで
- 返却：2月27日(金)まで

## ◆開館日時の変更及び休館日について

冬季休業及び年末年始は下記のとおりです。

- 12月27日(土)～1月5日(月) 休館
- 1月6日(火)以降通常どおり



## ◆◆図書館からのお願い◆◆

- ・図書は返却日までに返却してください。
- ・閲覧室での飲食は禁止です。
- ・閲覧室内での携帯電話の使用できません。
- ・閲覧室内での騒がしい行為・会話は禁止です。

## 《編集後記》

皆様のおかげで、図書館だより第85号をお届けすることができました。楽しんで頂けたでしょうか。執筆者をはじめ、担当各位にはお忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

図書館だより第85号はいかがだったでしょうか。他の方の読書体験を知ること、皆さんの読書の世界を広げることができたならば、図書館だより作成に携わった者として、幸いです。

既にご存知の方もいるでしょうが、今年度も冬休みの初日(12月27日)にブックハンティングを行います。自分が読みたい本を、本屋(ジュンク堂)で直接選ぶことができます。募集は10名程度です。興味ある学生諸君はぜひ申し込んで下さい。

図書館は改修によって情報センターとして生まれ変わり、本の閲覧だけではなく幅広い利用が可能となっています。授業以外でも、積極的にご利用ください。しかしながら、図書館利用については利用規則があります。また、利用しているのは自分だけではなく、他にも多くの方が利用しています。利用する際にはこれらのことを忘れないでください。

図書館では、皆さんに有効に使って頂けるよう、改善に努めていきたいと思っております。そのためにも、図書館の利用について、また、読みたい図書についてなど、ご要望をお寄せください。今後の活動の参考にさせていただきます。

(編集委員長 山崎 有司)

発行日：平成26年12月19日

発行・編集：久留米工業高等専門学校図書館 Tel：0942-35-9306 Fax：0942-35-9207  
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号 E-mail：L-staff.SAD@ON.kurume-nct.ac.jp